

事務事業調書 平成23年度	No 622	課名 浄水管理事務所	起案者 杉浦良二
事業種別 施設管理		係名 管理係	決裁者 石原隆義
事務事業名 原水及び県水受水事業		区分 新規	業務一覧No 7, 8, 9, 10
			他係名
			他係業務一覧No

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり	予算科目(会計)	
	3 水循環	予算科目(款・項・目)	
	1 上水給水	総合計画以外の計画	第5次拡張事業
	1 水の安定供給	関連する総合計画の施策	
	1 水資源の確保	法定受託事務	無
性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有 水道法		
実施方法	直営 委託先		
実施期間	開始 昭和31年度	経過 55年目	終了 期間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	市民(給水対象者)が	~になる	安定した水の供給を受ける
事務事業の内容	・水資源の安定確保を図るために、取水計画を策定し、自己水源(井戸水)の取水量及び県水受水(県より浄水を購入)量の管理をする事業で、施設(井戸や県水受水池等)整備や、維持管理を行っています。			
事務事業進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・H20 県水受水量 14,839,850m³/年、取水量 5,961,708m³/年 ・H20 井戸浚渫工事 3件、井戸ポンプ入替等修繕の6件を実施 ・H21 県水受水量 14,329,000m³/年、取水量 6,093,000m³/年 ・H21 井戸浚渫工事 2件、井戸ポンプ入替等修繕の3件を実施 ・H22 県水受水量 14,558,550m³/年、取水量 6,130,004m³/年 ・H22 井戸浚渫工事 3件、井戸ポンプ入替等修繕の3件を実施 			
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・S31 中部浄水場水源運転開始 ・S43 北部浄水場水源運転開始 ・S44 南部浄水場水源運転開始 ・S47 北部浄水場県水受水開始 ・S63 中部配水場県水受水開始、中部浄水場水源運転停止 ・H15 基本承認給水量 52,500m³/日(最大)を 51,900m³/日(最大)に下方修正 ・H22 基本承認給水量 51,900m³/日(最大)を 51,600m³/日(最大)に下方修正 			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	1,232,270	1,212,372	1,166,952	1,137,411	1,133,001	1,160,257	1,152,168	
財源計 a	1,227,601	1,207,703	1,162,208	1,133,194	1,128,558	1,155,814	1,146,897	
コスト 財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他()	1,227,601	1,207,703	1,162,208	1,133,194	1,128,558	1,155,814	1,146,897
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0	
職員人件費 d	4,669	4,669	4,744	4,217	4,443	4,443	5,271	
内訳 従事職員数	0.62	0.62	0.63	0.56	0.59	0.59	0.70	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名(活動内容)	受水量の管理及び受水計画策定	見込(単位)	15,120.00	15,120.00	14,050.00	14,000.00
				実績b(単位)	14,839.00	14,329.00	14,559.00	
		指標名(単位)	受水量(千m3)	活動の総事業費f 実績	1,120,440	1,104,929	1,108,613	
				単位コストg=f÷b 実績	75.51	77.11	76.15	
	活動②	活動名(活動内容)	自己水源の管理	見込(単位)	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
				実績b(単位)	5,962.00	6,093.00	6,130.00	
		指標名(単位)	取水量(千m3)	活動の総事業費f 実績	12,510	11,995	10,830	
				単位コストg=f÷b 実績	2.10	1.97	1.77	
	活動③	活動名(活動内容)	水源及び取水、受水施設の修繕、工事	見込(単位)	11.00	6.00	6.00	2.00
				実績b(単位)	9.00	5.00	6.00	
		指標名(単位)	件数(個所)	活動の総事業費f 実績	79,422	20,487	40,814	
				単位コストg=f÷b 実績	8,824.61	4,097.34	6,802.27	

5(1) 成果の目標と実績

		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
成果	成果1	指標名・指標式(単位)	年間取受水量(千m3)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00
				実績(単位)	20,817.00	20,423.00	20,715.00
				達成状況	達成	達成	達成
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	自己水源稼働率(%)	見込(単位)	88.00	88.00	88.00
				実績(単位)	87.10	89.00	90.00
				達成状況	未達成	達成	達成
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	・本年度は、節水等の給水制限がなく、需要に見合う十分な水源を確保することができました。

6 単位コストと成果の分析

項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
単位コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・県水受水については、基本承認水量の見直しにより受水の単位コストが減少しました。 ・自己水源については、水中ポンプの適正管理により電力量の低減化ができ単位コストが減少しました。 ・取・受水施設の工事費等については1件当りの工事費が高額であったため単価コストが増加しました。
成果1,2	<ul style="list-style-type: none"> ・水需要量の増加に伴い、年間取受水量が増加しました。 ・自己水源管理の適正化により自己水源稼働率が目標以上となりました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
	・安定して安全な水源確保を図るために、計画的な工事及び適切な維持管理を実施していきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	・自己水源取水量の安定確保と県水受水量の適正管理により、需要量に見合う水源の確保を図っていきます。